

## ■ ネットワークのさらなる強化・拡大

**多様な連携強化を図り、バーチャルイベントなど交流拡大の場づくりなどに取り組みます。**

(政策展開の方向性)  
 大学をはじめ多様な主体との連携強化を図るとともに、市町村や企業との日常的な交流の場づくりに取り組みます。また、バーチャルイベントなどによる新たな交流の機会を創出するとともに、どさんこプラザでのプロモーションやほっかいどう応援セミナーなどにより、道ファン子など関係人口の拡大に取り組むほか、移住しやすい環境づくりや北海道型ワーケーションを推進します。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
本道活性化のための科学技術の振興	○国の大型プロジェクトを活用し、室蘭工業大学と連携して申請した「共創の場形成支援プログラム」に「アシルトイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点」が採択されたほか、産学官が連携して行う基礎的研究・応用研究・実用化研究を支援し、共同研究数が増加【R4:1,712件、R3:1,667件】	0204
移住・定住の推進	○移住促進や交流づくりの機会拡大に向け、首都圏での対面イベント及びオンラインでの取組(オンラインセミナー、ターゲティング広告、SNS参加促進など)を積極的に実施【R4:移住定住情報発信サイトのアクセス数348,403件、交流イベントの参加者数705人、SNS参加者数3,554人】	0211
地域政策の推進	○移住促進や交流づくりの機会拡大に向け、首都圏での対面イベント及びオンラインでの取組(オンラインセミナー、ターゲティング広告、SNS参加促進など)を積極的に実施【R4:移住定住情報発信サイトのアクセス数348,403件、交流イベントの参加者数705人、SNS参加者数3,554人】 ○知事・市町村長によるトップセールスの場として、企業を対象とした「ほっかいどう応援セミナー」を開催【R4.9(札幌)、R4.11(東京)】 ○個人の応援団会員(道ファン子)への情報発信ツールとして公式SNS(LINE・FaceBook)を運営 ○応援団企業と市町村との繋がりを創出し、支援の獲得やノウハウの活用に結びつけることを目的に、応援団企業を講師としたセミナーやワークショップを開催(計3回) ◇官民連携の一層の推進に向け、企業・市町村・地域おこし協力隊が日常的に交流することができる場として、官民交流サロン「CONNECT(こねくと)」を開設(9/5) ◇北海道に興味・関心を持ち、思いを寄せる道内外の若年層を中心に、食やアクティビティなどの北海道の魅力をテーマとした、バーチャル空間での交流イベント「Connect北海道Lab.(ラボ)」を開催(R5、4回予定)	0215
道産食品の高付加価値化と販路拡大	○「北海道どさんこプラザ」国内外18店舗を展開【R5.7には新宿店がオープン】	0507

※主な取組については、令和5年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ(「◇～」)より引用・作成